

1. 件名：福島第一原子力発電所における1／2号機SGTS配管撤去に向けた現場調査の実施に係る面談

2. 日時：令和2年3月26日（木）16：00～16：45

3. 場所：原子力規制庁18階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、岩永企画調査官、高松専門職

原子力安全人材育成センター 原子炉技術研修課

上ノ内教官

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当4名

5. 要旨：

- 東京電力ホールディングス株式会社より、1／2号機SGTS配管撤去に向けた現場調査の実施について、資料に基づき以下の説明があった。
  - 配管に穴を開けるときは、ダスト飛散防止治具及び局所排風機を用いてダスト飛散防止を行うこと。
  - 作業ハウスは、難燃性のシートを二重にしたもので作成し、連続ダストモニターで常時監視を行う。加えて、鉛遮へいを三重にすることで被ばく低減対策を図ること。
  - 配管に穴を開けた際は、局所排風機を停止し気流確認を行うことで、配管からの吹き出しや吸い込みがないことを確認すること。
- 原子力規制庁は上記の内容を確認し、想定外の事象が発生したときは速やかに作業を中止する等、慎重に作業を行うことを求めた。

6. その他

資料：

1／2号機SGTS配管撤去に向けた現場調査の実施について